

編集後記

ようやく第10号発刊のはこびとなりました。

本号の巻頭言は埼玉大学の西野先生から、我々を取り巻く社会背景・環境の問題について、技術者としての姿勢に対して御教示いただきました。10年目という一つの節目の号にふさわしい内容の御言葉をいただき、大変有難く、誌面を借りまして厚く御礼を申し上げます。

「宮地技報」も創刊から10年が経過したわけですが、コンピューターに代表されるように、この間の技術の進歩には目を見張るものがあります。このような時代の中で、新しいものにチャレンジせず、既往の技術でできることだけをやっていただけでは時代の流れに取り残されてしまいます。「技報」は単なる報告書ではなく、今後の新しい技術を生み出していく上での基礎となるもの、情報源となるものです。そのため、「技報」を出すには相当な労力が必要となりますが、これからも続けていかななくてはなりません。第20号が出る頃は21世紀になっています。21世紀を良くするのも悪くするのも、科学技術の進む方向にかかっていると思われれます。第10号の発刊に当たり、もう一度初心に戻って、宮地グループの技術の進歩とともに「技報」もより良いものにしていきたいと考えています。

技報編集委員会

委員	長	高野 祐吉					
副委員	長	高崎 一郎	三木 茂喜				
委員		伊木 達治	太田 貞次*	小出 勝雄			
		清宮 昭夫	坪井 幹男	中島 善郎			
		鳴沢 明雄	能登 宥愿	長谷川 宜宏			
		松本 泰成	宮崎 好永	森下 統一			
事務局		小林 裕輔	佐藤 徹	永見 研二			

*印 事務局兼務

宮地技報 第10号

発行日 平成6年12月20日

発行所 株式会社宮地鐵工所

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号

(日本橋SKビル) TEL 03(3639)2111(代)

印刷所 三好印刷株式会社